

俳句を作ってみよう!

循誘校区では、現在「春のじゅんゆう文芸賞」の作品(俳句、川柳、一行詩)を募集しています。
みなさんもこの記事を参考にして、文芸賞に応募してみませんか?
※詳しい応募方法は1ページをご覧ください。



教えていただいたのは 栗林 白霜先生
(俳人協会佐賀県支部長、
循誘公民館俳句サークル講師)

俳句、川柳、一行詩の違いとは?

- ・基本、俳句には季語が必要。川柳や一行詩には必要ない。
- ・俳句と川柳は五・七・五の17音が定型。一行詩は自由。

俳句…四季や自然の描写を通し、心象(心に浮かぶ姿や形)などを表現したもの。

川柳…世相や風俗、人事などを面白おかしく指摘したり、風刺的に描写したりするのが特徴。

一行詩…季語や字数などの制約がなく、心に思っていることを短くまとめたもの。

に大きな金木犀の木があったなあと思い出し、それから子ども時代のエピソードが次々に浮かんできた。

2. 心に留めて、メモする
金木犀の香り 子ども時代にいざなう 一人遊び 郷愁

3. 「五・七・五」の17音にしてみる
きんもくせい こどもじだいに つれてった
きんもくせい こどものころに タイムスリップ
きんもくせい こうしゃのうらの ひとりあそび

4. 声に出して読んでみる
すんなり読めるか、季語は入っているかなどを確認する
言葉を縮めたり、相応しい言葉を選んだり、上の句と下の句を入れ替えてみる
完成品「金木犀幼き私が遊んでる」

例2. 誘ちゃんの場合



1. 材料を見つける
スーパーに買い物に行くと、干し柿が安くなっていた。お正月用に今買っておけば節約になると思い、買って見たが、結局お正月前に全部食べてしまった。

2. 心に留めて、メモする
干し柿 お正月準備 我慢できない おいしい 結局節約にならない ダメな私

3. 「五・七・五」の17音にしてみる
おいしいほしがき しょうがつまえに たべちゃった
せつやくが せつやくにならない しょうがつじゅんび
せつやくより よだれがまさる ほしがきのみりよく

4. 声に出して読んでみる
すんなり読めるか、季語は入っているかなどを確認する
言葉を縮めたり、相応しい言葉を選んだり、上の句と下の句を入れ替えてみる
完成品「正月まで待てないうまさ干し柿よ」
さて、誘ちゃんの句を先生に添削してもらおうと…

「正月まで待てないうまさ干し柿よ」

- ・正月と干し柿とで季語が重なっているので干し柿だけで詠む
- ・干し柿はうまいに決まっているから言わない

ということでした。参考に先生の句を紹介します。

惜しげなく金木犀を踏み遊ぶ	木犀の香や逆上がりがんばる子
木犀の香のどこよりぞ通学路	木犀の咲く頃私誕生日
太陽をあつめ干柿甘くなる	学校のできごと話し柿をむく
あちこちの軒に干し柿ゆれている	一個ずつ食べ吊し柿なくなりし

俳句は日本で一番短い詩です。季節のうつろいや感じていることに季語を一つ入れて表現します。普段の生活の中で心にふと浮かんだものをこまめにメモに留めておくと、それが俳句の種になります。俳句の種を意識すると、今まで何気なく通り過ぎていた季節の変化や景色が特別なものになるでしょう。俳句は日常の当たり前のことに気づくこと、小さな出来事にも感動することです。新しい発見が脳を鍛えて若々しくなるかもしれませんね。

「春のじゅんゆう文芸賞」では「春」を題材にした作品を募集しています。春の季語を参考にして作品を作ってみましょう!

春の日 暖か 麗(うらら)か 日永(ひなが) 春の空 春
【春】 の雲 東風(こち) 春一番 春の雨 霞 陽炎(かげろう)
花曇(はなぐもり)

入学試験 卒業 春休み 入学 遠足 春の服 桜漬 う
【くらし】 ぐいす餅 桜もち 草もち 種蒔く(たねまく) 花種まく
剪定 さし木 根分 潮干狩 梅見 花見 風船 しゃぼ
ん玉 朝寝春眠 四月馬鹿 ひな祭 雛流し 花祭

春の鳥 猫の子 囀(さえずり) 雲雀 うぐいす 燕 雀
【生き物】 の子 鯉五郎(むつごろう) しおまねき 蛭 蛤 蝶 蜂

梅 桜 こぶし つつじ 山吹 木の芽 草の芽 すみれ
【植物】 れんげ草 土筆 ふきのとう 若布(わかめ) 海苔

実際に作ってみよう!

1. 材料を見つける
【自然のこと】風が冷たくなったなあ、季節の花が咲いた、木の芽が膨らんだ、鳥の鳴き声
【日常生活】句の食べ物、買い物、テレビ番組、おでかけ、家族、趣味
【季節の行事】クリスマス、冬休み、お正月の準備

2. 心に留めて、メモする
日常の生活、見たり、聞いたりしたことから感じたこと、行事を通した心の動き、ふと口を付いて出たことを書き留める。

3. 「五・七・五」の17音にしてみる
難しく考えなくてよい。五・七・五の17音は不思議と自然に出てくる。5音や7音にならなかつたら、同じ意味の他の言い方を考えてみる。

4. 声に出して読んでみる
すんなり読めるか、季語は入っているかなどを確認する
言葉を縮めたり、相応しい言葉を選んだり、上の句と下の句を入れ替えてみる

作ってみた

例1. 循ちゃんの場合

1. 材料を見つける
散歩していると、金木犀の香りがしてきた。確か、小学校の校舎の裏

